

3  
1  
1  
を私  
たちは  
けっ  
して  
忘れ  
ない

# AFTER 311

## 第2回脱原発弘前映画祭

2014年

# 2月15日(土)

### 弘前文化センターホール

(駐車場が混み合います。公共交通機関をご利用ください)

#### スケジュール

- 12:30～ 福島生きものの記録 シリーズ1～被曝～
- 13:55～ 脱原発ミニライブ&トーク
- 14:40～ 小出裕章 講演・トーク
- 16:50～ 福島生きものの記録 シリーズ1～被曝～

#### 料金

- 成人 1000円
- 大学生 500円
- 高校生以下 無料

講演・トーク

# 小出裕章

あの日からもうすぐ3年  
～フクシマの現実と青森のこれからは～



イベント

脱原発ミニライブ&トーク (矢澤アイサ、山下知徳) 小出裕章ブックフェア

# 第2回 AFTER 311 脱原発弘前映画祭

昨年7月7日に開催した第1回映画祭では311名の市民が映画と写真展を鑑賞しました。会場でいただいたアンケートでは、「東京原発観てよかったです。弘前市のスマートシティ計画を進めましょう。市民の生活から再生可能エネルギーを!と思います。」「現代日本が抱えている原発について考えさせられる素晴らしい作品でした。根底は人間はいかに生きていくべきかという問いかけです。美しい自然との共生への道を求めて。」「政治家は福島の写真展を見るべきだと思った」など、企画そのものへの感動、評価とともに、「継続は力なりです。一度限りの映画祭にならないように期待しています。」「脱原発弘前映画祭をずっと何回も続けることが重要だと思います。日本から原発がなくなる日まで!!」など、私たちの運動への期待と励ましをたくさんいただくことができました。

こうした励ましを受けて、このたび、第2回 after311 脱原発弘前映画祭を開催することにしました。上映作品は文化庁から映画賞を受賞した「福島生きものの記録 シリーズ1～被曝～」(岩崎雅典監督)です。

ゲストに小出裕章先生をお招きし、2時間たっぷり講演とトークをいただきます。その他、ミニライブ&トーク、小出裕章ブックフェアと多彩な企画を用意しました。是非皆様のご来場をお待ちしております。

## 福島生きものの記録 シリーズ1～被曝～ 監督/脚本:岩崎雅典 撮影:明石太郎 (75分)

平成25年度文化庁映画賞・文化記録映画優秀賞受賞

ドキュメンタリープロダクション・群像舎は、日本列島を中心に30年にわたって野生動物のいのちの営みを記録してきました。福島第一原子力発電所の爆発事故は、その生きものたちをもまったく新しい環境下に追い込む事態を発生させてしまいました。

この事故で、とりわけ福島県では、野生生物と人間の境界を議論することに意味を持たなくなりました。人間・動物・植物の別なく、すべての生命が"大きないのちの環"の中にあることが、実に皮肉な形で示されつつあります。

長年にわたり野生生物の生態と環境を記録のテーマとしてきた群像舎は、いま改めて福島の生きものに焦点を絞り、そこに何が起ころうとしているのかに目を向ける責任を痛感しています。しかし、そのための確たる方法も見通しもまだ見えていません。ただスタッフたちは、先ずカメラと録音機を回すこと以外に、その答えを引き出すことは出来ないと考えています。また"汚染された生きものの記録"には予想することもできない長い時間が必要になるだろうとも考えています。

「ともかく、靴の紐を結んで歩きだそう」—岩崎雅典監督の決意です。



### 小出裕章氏 講演・トーク

### 「あの日からもうすぐ3年～フクシマの現実と青森のこれからは～」

小出裕章(こいでひろあき)。1949年東京生まれ、京都大学原子炉実験所助教。

専門は放射線計測、原子力安全。原子力の平和利用に夢を抱いて大学に入学。しかし原子力を学ぶ事での危険性、「原発は差別の象徴だ」ということに気づき伊方原発裁判、人形峠のウラン残土問題、JCO臨界事故などで放射線被害を受ける住民の側になって活動。原子力についての危険性を40年間訴え続けている。福島事故後の国会でも参考人として発言し、大きな反響を呼ぶ。著書にベストセラーになった『原発のウソ』(扶桑社新書)、『原発はいらない』(幻冬舎)など多数。

#### ●脱原発ミニライブ&トーク

矢澤アイサ: 浪江町からやってきた反原発シンガー。山下知徳: 青森駅前金曜日行動で歌で核の危険性を訴える。歌と映像とトークの反原発ライブ。

#### ●小出裕章ブックフェア

311後に発行された小出裕章先生による書籍は42冊に上ります。樋口書店さんが選りすぐりを一堂に集め、ご来場の皆様に提供します。

### 「After311 脱原発弘前映画祭」呼びかけ人

仁平将(代表)、青山薫、赤平勇人、浅石紘爾、阿部東、阿保玄馬、荒川修、荒川志穂、新谷進一、蟻塚亮二、安藤晴美、安藤房治、飯考行、五十嵐貞子、石川隆之、石澤治彦、石塚哉史、石田貴美恵、石田久、石田寛、市田緑、泉谷雅人、泉谷眞実、伊藤圭子、猪股あや子、今泉昌一、岩館友祐、岩淵聡、岩淵シゲ、上松一、遠藤順子、逢坂拓、逢坂光範、大島貴美子、大竹進、太田正幸、大坪正一、小笠原良子、小川盛政、奥村榮、尾崎一美、尾崎千鶴子、小山内頼人、小澤健、小田切明和、小田切達、小田桐真人、小田桐泰英、小野美穂子、郭竹子、角田尚樹、葛西聡、片桐拓、加藤あけみ、金崎昭三、柄沢博之、河合正雄、川越誠子、川嶋博、川村正樹、神田健策、菊川慶子、貴田岡曠久、喜多昭一、木田義満、木村一雄、木村匡宏、櫛部孝行、工藤啓一、工藤淳治、工藤八千代、窪田恵子、久保田祐輝、熊谷菜穂子、熊野真規子、倉坪茂彦、倉坪芳子、黒澤彩香、黒滝美樹、黒沼修、黒沼利三、越明男、小搖史朗、小西玲奈、古村一雄、近藤由璃、斎藤厚、齋藤桜磨、齋藤美貴、酒田孝、坂本恵津子、坂本隆、崎野修、桜田節子、櫻庭晋、桜庭真里子、佐々木憲一、佐藤岳、佐藤佳代子、佐藤佳造、佐藤仁志、佐藤史絵、佐藤まさ、佐原元、佐原若子、座間宮ガレイ、澤口進、沢目ミヤ、品川信良、篠原奈緒、清水全子、下間正博、下野直之、下村博央、下山智裕、庄司恵雄、J・E・フィリップス、城田安幸、鈴木裕史、須藤宏、相馬裕、高地豊人、高橋千鶴子、高松利昌、高森牧子、竹内一仁、竹浪歩、竹浪恭二郎、竹浪純、竹谷聡、田代実、立柳作之進、立石雅昭、田中研、谷崎嘉治、田村儀則、千葉厚子、千葉仁子、張樹槐、津川文義、寺田千里、戸川雅子、土岐峯子、棚内伸子、鳥谷記子、永井温子、中澤博子、中嶋香織、永瀬範明、中畑範彦、中道雅史、中村寛二、嶋海清彦、二階堂清子、三川原一、西岡まゆみ、西崎昭吉、長谷河垂希子、長谷良志男、V・R・カーペンター、日土潤、広野晃久、深作拓郎、福田進治、福士顕治、福原秋雄、福原加壽子、藤川まゆみ、藤田せい子、藤田伴之、藤森勝彦、藤原竹二、藤原美紀、穂積夏子、舛甚清人、松島明、松田耕一郎、松林宏樹、松本理香、間山泰人、三浦協子、三浦史子、三浦良成、三上恒子、三上直樹、三上ひろ子、三上弘之、宮永崇史、村松正江、盛有子、森住卓、矢澤アイサ、安田俊夫、安田肇、山口久、山下悟、山下知徳、山田勝仁、山田清彦、山田大輔、山本公行、山本陽子、横濱正幸、吉俣洋、若松紅、渡邊克司(敬称略)206名